

#### (4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 弘前大学教職大学院
コラボ研修プログラム	テーマ： 地域共生社会の形成に向けた研修会
支援事業報告書	研修等名： 【NITS・弘前大学教職大学院コラボ研修】 学校と地域の「いま」と「これから」をつなぐ ～インクルーシブな地域共生社会の形成を目指して～
	開催日時：令和4年2月19日 13時～16時30分 開催場所：弘前大学教育学部（青森県弘前市文京町1番地）オンライン配信元 参加人数（総数）と参加者の属性： （78人）学校関係者49人、地域関係者7人、教職大学院院生、教員22人

**内容：**本研修プログラムは以下の通りである。

##### ①パネルディスカッション

話題提供 1 「ともに学べる共生社会を相模原から～相模女子大学のインクルーシブ・ゼミ～」

話題提供 2 「様々な声のかたちで、みんなと繋がりたい～デキルことを生かした伝え方～」

話題提供 3 「ムーブメント教育で紡ぐ子どもと家族と地域のつながり」

##### ②意見交換、質疑応答等

##### ③グループ交流・協議

##### ④全体共有・まとめ

【企画の背景と構成】 これからの地域共生社会の形成に向けて、教員及び関係機関の職員など、特別な教育的ニーズのある子供の支援にかかわる者に必要な資質・能力の育成を目指し、地域社会におけるそれぞれの役割を考え、今後を展望することを目的として企画した。

①②では、学校教育段階以前及び以後の各々の取組に触れたり、立場の違うパネラーとの対話等をとおして、参加者が自身の視野を広め、多様な物の見方・考え方を共有し、相互に学び合う機会とした。①②を踏まえ、③では、話題提供から学んだこと、これから自身が描いてみたいこと（新たなアイデア）等について意見交換を行い、④で全体共有を通し、各々が省察する場面とした。

##### 成果【事後アンケートの自由記述より】

- ・話題提供の先生方の取組、アクションに刺激を受け、自分の中の止まっていたモーターを動かさなくてはと強く思った。「心のスイッチ」も「やる気スイッチもオン」になった。すべきこと、できること、したいこと、それぞれ整理しながら、明日からできる具体的なアクションを考え実行したい。
- ・グループ協議では、あまり肩肘張らずにお話できる雰囲気もよかった。機会があれば今後も参加したい。パネルディスカッションでは、様々な立場のパネラーの方からお話を聞くことができ、「地域とつながる」、「本人の思いの尊重」ということは、共通して意識されていることであると学ぶことができた。
- ・今自分に何ができるのかということを考え、実際に明日から実践していかなければならないと感じた。特に、児童生徒の思いを尊重すること、目の前子どもたちに今できることはすぐに取り組んでいきたいと考える。
- ・3つの話題提供を聞いて、固定観念を捨てて、何を、何のために行うのかを考えて学校を運営していきたいと思った。また、もっと積極的に ICT を活用して、できる状況づくりを進めていきたい。
- ・学校外で活躍されているパネラーの方々の話は非常に鮮烈で、自分自身が行動を起こすべきであると思える内容だった。
- ・話題提供、その後のグループ交流ともに大変内容の濃い時間で多くの気づきをいただいた。
- ・教育の現場にいるものとして何ができるか、特別支援教育に携わる者として何をやるのかということは勿論ながら、今この社会の渦中にいる一人として、これからのことを考えた時に、人とどう関わり、どう過ごしていけばいいのか、自分自身のこれまでで培われた価値観を見つめ直すきっかけを頂いたような気がする。

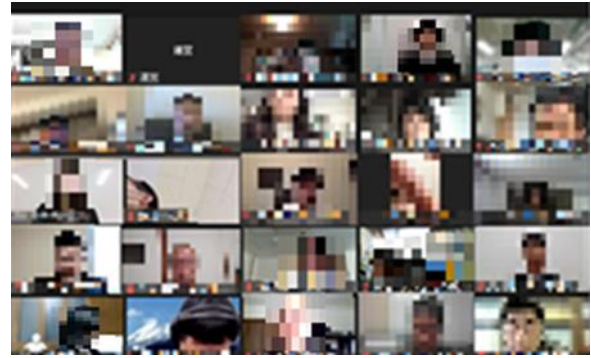
## アイデアや工夫したこと：

- ・学校現場における喫緊の課題や教職大学院における学びを生かし、院生が企画及び運営した。
- ・協議のグループ編成は、多様な立場からの視点を共有するために、職種、校種、参加地域等を考慮した。
- ・参加対象者として、学校関係者が多く見込まれたことから、参加可能と思われる週休日の開催とした。
- ・研修テーマにおいて、学校教育とのつながりに着目し、幼児期及び青年期の取組を取り上げた。
- ・研修をととして各自が学んだことを振り返りシートに記入し、参加者が共有できるようにした。
- ・回答のしやすさや効率化を図るために、申込受付やアンケート収集等は、web フォームを使用した。

### <写真・図など>



【運営側の配信の様子】  
入室対応、ルーム設定等各業務を連携して行った。



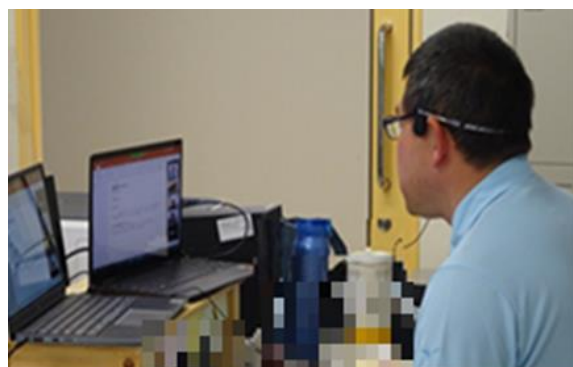
【開会行事の様子】  
全国各地より御参加いただいた。



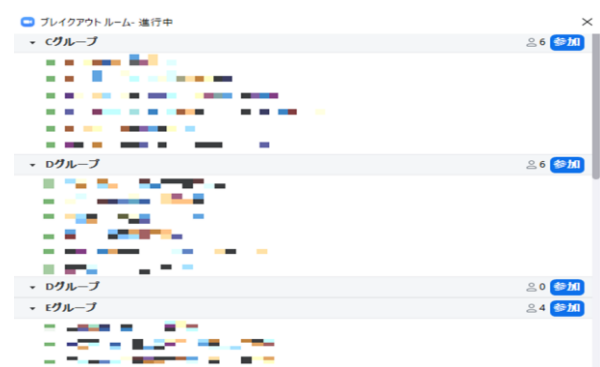
【パネルディスカッション】 パネラーへ質問  
「心のスイッチ」が入るきっかけとなったことは？



【グループ協議の様子】  
話題提供者と対話し、考えを広め深めた。



【グループ協議の様子】  
院生が中心となり、司会進行を行った。



【参会者同士の交流】  
閉会後も多くの参会者が語り合った。